

市民のくらしを守る 自治体の責任を果たせ

日本共産党国分寺市議団 やなぎ 孝義

《市民の命と健康を守る行動を》

問：保育園最低基準の撤廃を始めとした児童福祉法の改正、国保税値上げに誘導する通達、消費税増税の具体的検討など、市民の命と健康を脅かす悪政が、民主党政権によって進められている。市民のくらしと命を守るために、市長はどのように行動するのか。

市長：自治体に共通する課題については市長会を通じて、国と協議をする。市固有の問題については必要な行動を起こしていく。

《公立保育園民営化について》

問：議会場で取り下げになった、公立保育園5園の「民営化または廃止」計画が保育園保護者に説明されている。ありえないやり方であり、保護者への説明を撤回すべきだ。

市長：将来的に保育園の体制をどう持っていくかについて、整理をしているところだ。どういうスケジュールと考え方で進めていくかについて、理解を得ていきたいと考える。

※議会で撤回した方針を保護者に説明するという、異常なやり方を改める答弁はありませんでした。

《「受益者負担」と有料化方針について》

問：基礎的な市民サービス（下水道設備の整備など）や、基本的人権の行使（社会教育施設である公民館などの利用）に対し、「受益者負担」の考え方からの負担を求めることはなじまない。現行方針の撤回を。

市長：意見を整理している段階なので、その整理を踏まえて今後の対応を考える。

《再開発事業と市民のくらしについて》

※「高さ100mを越す二棟の分譲マンションが施設建築物の中心である、国分寺駅北口再開発事業は、最低でも210億円の市税投入を伴う計画になっている。その財源を生み出すための『行政改革』による、向こう四年間で累計百数十億円にも上る施策削減と市民負担増が、市民のくらしに強いる犠牲の大きさは計り知れないものであり、市民のくらしも市の財政も壊れてしまう計画である」と指摘し、抜本的見直しを求めました。

問：現在の地権者の生活と営業を守る手立てを講じながら、道路・駅前広場の整備を最優先で、可能なあらゆる手法の検討をするべきだ。経済状況と市の実情を踏まえ、巨額の市税投入計画を抜本的に見直すべきではないか。

市長：事業費の削減、追加的財政負担の軽減に努めて、北口再開発事業を進めたい。

※「国分寺駅北口の整備が進まないのは、できない計画にしがみついているから進まないのだ」と指摘し、大きなビルをつくる再開発手法にとらわれず、あらゆる角度からの再検討を重ねて求めました。

《市民のくらしに関わる重要課題の解決を》

最後に、長年にわたる市民の強い要求の中で、特に以下の点を実現するよう求めました。

- 小中学校エアコン設置は、議会に示した期限を厳守すること。
- 子ども医療費助成制度を、中学三年生まで完全無料に拡大すること。
- 現行の公設公営保育園は、公設公営を堅持すること。
- 介護保険事業計画の次期改定（平成24年）に当たっては、保険料の上昇を抑える手立て

を講じるとともに、「軽度者」の制度からの排除をしないこと。

- 介護保険サービス利用料の負担軽減制度を復活すること。
- 緊急通報システムの拡大など、高齢者見守りシステムを総合的に改善すること。
- 雇用・就労支援施策を具体化すること。
- 公共調達条例を直ちに議会上程すること。

徹底的な行政改革を進めて 財政の健全化を！

民主党・無所属クラブ 及川 妙子

1. 財政の健全化について

①平成24年度に収支均衡型予算を実現することだが、これまでできなかったものが1年でできる根拠は？ → 枠配分による予算編成や職員給与の削減、市税徴収努力や特定財産の処分により、8億円の目標を上回る11億2,800万円の削減が見込まれることから可能である。

②最新の財政フレームがないのにどのように施政方針をつかったのか？ → ある程度のこと念頭において整理している。

③一般会計予算が20億6,663万円、5.2%昨年に比べて減額になっている要因は？ → 各部の努力によって積み上げた数字である。

④基金残高が少ないが大丈夫か？ → 予算どおり執行すれば対応は図れる。

⑤今後、臨時財政対策債に頼らざるを得なくなるのではないかと？ → 大きな歳出があれば厳しい判断をせざるを得ない。

2. 地域主権について

「真の地域主権改革実現に向けて、市長として自ら行動してまいります」とは何をするのか？ → 地域主権改革については特に市長の役割が大きい。財政の自主性を高め、税財源の移譲を実現するとともに、政策自治体としての能力を高め、職員の意識改革、能力開発を進めていきたい。

3. 個別の質問

①ホームページの現サイトの問題とは？ → これから課題を抽出する。

②「地域ひろば」と社会福祉協議会が進めている「ここねっと」との違いは？ → 社協は主に福祉の分野で、地域ひろばは教育や防犯を含む広い分野。

③保育所の定員が22年4月に比べて24年4月には600名の増となり、待機児童がほぼゼロとなるが、一時的に急増することの問題点は？

→ 今後はそれぞれの保育所がばらばらではなく、より結びついた形で運営していくことを検討している。

④放課後子どもプランと学童保育所の効果的な事業展開とは？ → 教育長＝放課後子どもプランに参加してから学童クラブに行くのが理想的だが開催日数等今後検討していく。

⑤高齢者の介護施設の待機者問題は？ → 300人を超える待機者がいるので施設の誘致につとめたい。

⑥子宮頸がん予防ワクチンの助成について、23年度は中1のみだが、他の学年で国の補助だけ受けられないか？ また自己負担1割をなくせないか？ → 市が事業をしないと補助は受けられない。自己負担は1割をお願いしたい。

⑦その他、ぶんバスの新ルート、ごみの収集回数の見直し、小学校の外国語活動について質問した。

4. 国分寺駅北口再開発事業について

①昨年の施政方針にあった「政治生命をかける」はなぜ今回ないのか？ → 政治生命をかけることに変わりはない。

②追加的財政負担（21億）の軽減に向けて最大限の努力をするとは具体的に何をするのか？ → 公益業務床の処分に関して意欲的な取得しても良いという提案をしている事業者を開拓したい。

③追加的財政負担の金額が明らかになるのはいつか？ → 特定建築者を募集する時に条件を付すので24年の8月頃になる見通し。

④軽減されなかった時の市長の責任の取り方は？ → 21億円を下げるができなければ、市民の皆様の新たな判断をいただく。

☆国分寺市は男性の平均寿命が81.4歳で全国で第4位の自治体です。男性も女性も健康で長生きできる町にしていきたい。

行政改革と学校にエアコンを！！ について

無会派（新和会） いとう 太郎

Q. 当市の正規職員の一部の給与は26市のうち、ワースト1（高い）です。まさに既得権益を正常化するの、今回の議案だと考えていますが、労働組合との交渉は決裂状態であるとの説明をして頂きました。また、労働組合との交渉は少なくとも22年度一杯をかけて行われてきたと伺っております。一定の期限を区切らなければ、当分の間、人件費の削減は進まないと考えています。今回の議案は、不当労働行為や不利益処分になるのか教えて頂けますか？

市長）私はこのようなご指摘を受けることはないと考えております。

Q. 学校にエアコンを設置するなら、ウィルスや細菌を殺菌できる機種があります。例えば、インフルエンザ・ノロウイルスにも花粉症やアレルギー対策にもなります。導入を検討して頂きたい。

教育長）少し調べさせて頂いてから考えたい。

この予算編成手法では 翌年すら組めなくなる

無会派 甲斐 よしと

甲斐）予算案が示されたのに中期財政計画（財政フレーム）が今だ無い。本来、財政フレームから各年配分の担保があつての予算化で、本末転倒だ。4年前の我々の選挙年には、財政調整基金（使い途に制約のない貯蓄）が32億円あったのに1億7千万しか残らない。火急の対応ができないばかりか、基金頼りで翌年すら組めない。

市長）議員の指摘どおり不測の事態に懸念ある。甲斐）市長は4年前、北口再開発と平行して5年間で庁舎建設を決定。私は猛反対した。今、断念なさらず、進めていたらどうなった？

市長）庁舎の問題に突っ込んでいたら、さらに厳しい環境になったと想像できる。

甲斐）その責任も明らかにせず、今度は北口再開発にルール負担以外に21億もしくは最悪36億で2.5階のフロアを買い取る方針は、この時代、財政で市民の理解を得られない。その金で名古屋市のように減税しろと市民は思う筈だ。

